

【様式】

費用便益分析の結果（一般国道329号、石川バイパス、L=8.2km）

事業の目的

沖縄本島のほぼ中心に位置し、東海岸を貫く国道329号の中間地点でもある石川市は、地理的・地形的条件に恵まれていることから、沖縄県内のエネルギー基地として整備が進められている。“海に向かって開かれた街”として近年急激に宅地開発が進み、交通量は増加の一途たどり、随所で慢性的な交通渋滞を起こしている。特に石川市中心を通る現国道区間では、交差点間隔が100m程度と短いこともあり、朝夕の通勤・通学時及び、夏季観光シーズン、休日・祝祭日等には交通渋滞をきたしている。このような交通渋滞を緩和すると共に、将来の交通量に見合う道路網整備計画の一環として石川バイパスの整備を進めている。

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成15年度			
供用年	平成27年度			
単年便益(初年便益)	146億円	-1億円	2億円	147億円
基準年における現在価値	2249億円	-15億円	34億円	2268億円

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成15年度		
単純合計	475億円	84億円	559億円
基準年における現在価値	604億円	37億円	641億円

評価指標の算定結果

表便益比(CBR)	B / C = 3.5
-----------	-------------

交通状況の変化

事業名：石川バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 7.8km	交通量	[台/日]	0	27,600	
	走行時間	[分]	0	12	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	83.18	
②主な周 辺道路	現道(国 道329号) : 7.7km	交通量	[台/日]	28,800	18,100
		走行時間	[分]	27	18
		走行時間費用	[億円/年]	212.77	76.47
	(県道6 号) : 4.2km	交通量	[台/日]	11,600	9,800
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	43.20	24.62
	((主)石 川仲泊 線) : 3.2km	交通量	[台/日]	21,900	20,500
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	23.88	21.96
③その他道路合計 : 1458.7km	走行時間費用	[億円/年]	8904.07	8859.02	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1481.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9183.92	9065.24	118.68

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

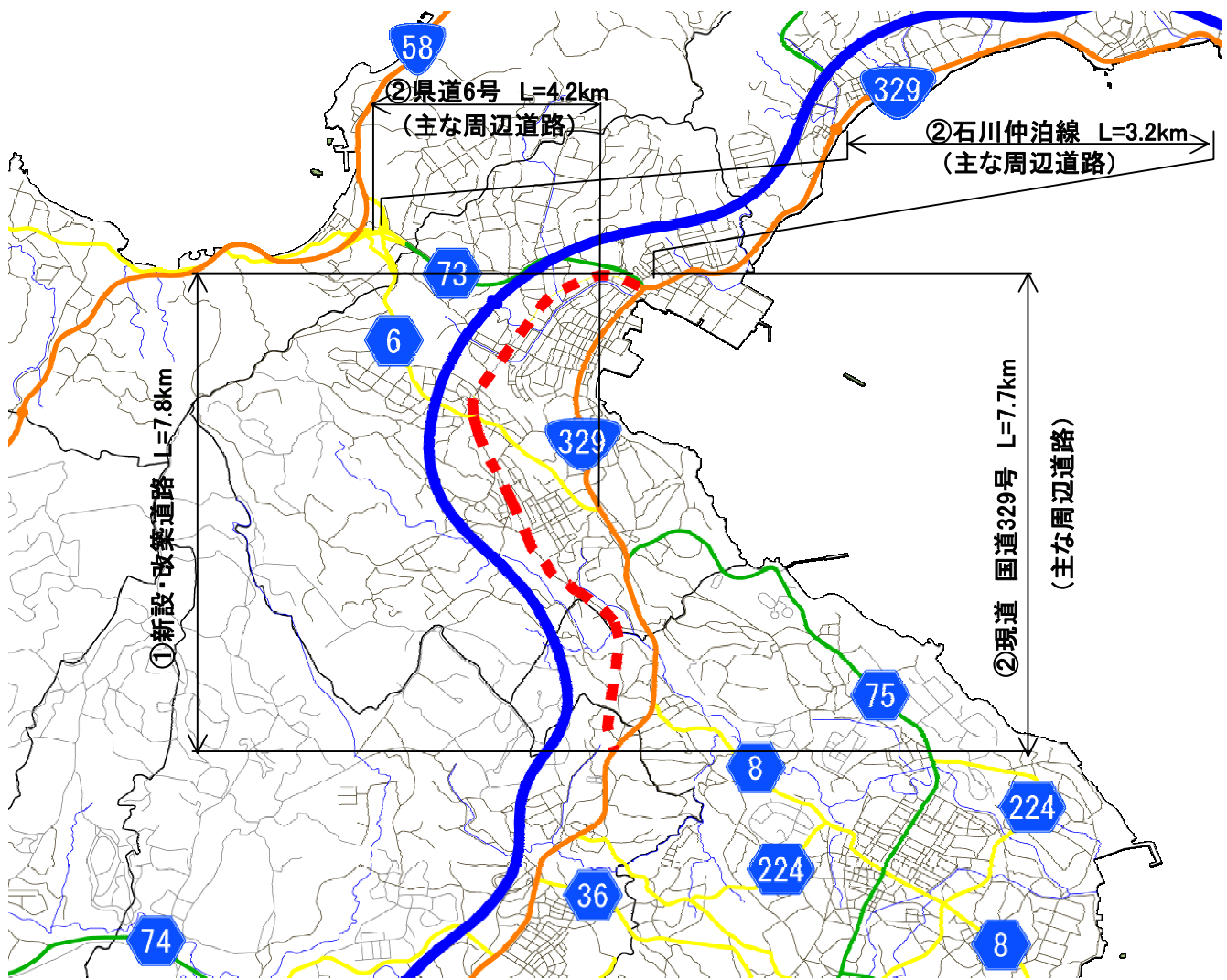
※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：石川バイパス（事業全体）



交通状況の変化

事業名：石川バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] 2車線暫定供用 : 7.8km	交通量	[台/日]	0	27,600	
	走行時間	[分]	0	12	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	83.18	
②主な周 辺道路	現道(国 道329号) : 7.7km	交通量	[台/日]	20,900	18,100
		走行時間	[分]	20	18
		走行時間費用	[億円/年]	177.16	76.47
	(県道6 号) : 4.2km	交通量	[台/日]	12,000	9,800
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	32.85	24.62
	((主)石 川仲泊 線) : 3.2km	交通量	[台/日]	17,000	20,500
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	20.22	21.96
③その他道路合計 : 1458.7km	走行時間費用	[億円/年]	8871.17	8859.02	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1481.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9101.39	9065.24	36.14

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：石川バイパス（残事業）

